

健康づくり施策の進捗状況等について

平成 25 年 10 月

目 次

I	これまでの取り組み	2
II	平成 24 年度の取り組み	3
III	平成 25 年度の取り組み	6
	(参考資料)	
	具体的な施策の展開シート	9

I これまでの取り組み

本市の健康づくり活動は、第1次健康くまもと21基本計画等に基づき、「市民が自分らしくいきいきと輝いて暮らすことができるようになる」ことを目標に、ライフステージに応じた地区住民会議や食や運動等の専門部会等の活動を通して、市民協働による健康づくりに取り組んだ。

この計画が平成24年度で終了することから、近年の少子高齢化の進展や疾病構造の変化に伴う生活習慣病の増加等に対する予防策の充実、さらには、政令指定都市移行に伴う健康まちづくりの取り組みやこころの健康センターの設置等の変化に対応した新たな計画へと見直し、第2次健康くまもと21基本計画を策定した。

加えて、この第2次計画の分野計画に位置づけられる「食育」や「歯科口腔保健」の推進に関する施策の充実を図るため、各々の計画についても見直した。

今後は、これらの新たな健康づくり計画に基づいて、引き続き市民協働による健康づくり施策に取り組む。

Ⅱ 平成 24 年度の取り組み

市民との協働による健康づくり施策の指針である「健康くまもと 21 基本計画」、並びに「食育」、「歯科口腔保健」の推進のための「熊本市食の安全安心・食育推進計画」、「熊本市歯科保健基本計画」を国の基本方針等を踏まえ、見直した。

また、引き続き本市の健康課題である「CKD対策」をはじめとした生活習慣病対策に取り組むと共に、区役所を中心とした健康まちづくりの全市での推進や、政令指定都市移行を機に設置した「こころの健康センター」を中心としたメンタルヘルス対策の充実を図った。

さらには、中小企業の従業員を対象とする医療保険者である「協会けんぽ」との健康づくりに関する協定締結、がん対策推進に関する企業等との協定の公募など、職域保健との連携など新たな視点を加えた健康づくり施策を推進した。

○ 主な取り組み等

* 第 2 次健康くまもと 21 基本計画の体系に準じて整理

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

(1) がん (P10)

- ・ 市政だより、市ホームページ等の活用や、校区単位の健康まちづくりの中での地域の健康イベント等におけるがんに関する正しい情報提供や啓発の実施
- ・ 一定年齢到達者に対し、受診率向上のための無料クーポン券等の送付
(対象：大腸がん、乳がん、子宮がん / 実人員 66,608 人)
- ・ 本市との協定によりがん対策に取り組む企業・団体を公募

(2) 循環器疾患 (P12)

- ・ 特定健診受診率向上のための電話や個別勧奨通知を送付
- ・ 重症高血圧の要治療者に対して保健師や栄養士による受診勧奨
- ・ かかりつけ医と区役所との連携強化のための生活習慣病対策ネットワーク連絡会開催

(3) 糖尿病 (P13)

- ・ 世界糖尿病デー関連の講演会や啓発イベント実施
- ・ 糖尿病啓発の市オリジナルバスカードによる啓発の実施
- ・ ICTを活用した健康づくり支援事業
- ・ 糖尿病の要治療者に対して保健師や栄養士による受診勧奨

(4) CKD（慢性腎臓病）(P14)

- ・ 認知度向上等のための各種イベント等による啓発の実施
- ・ かかりつけ医と専門医との連携を図るためのプロジェクト会議開催（開催：3回）
- ・ CKD予防教室の開催等保健指導の実施
（各区役所でのCKD予防教室：対象者 943 人/受講者 392 人：41.6%）
*未受講者については、健康相談や電話等で個別フォローを実施
- ・ 関係機関との協働による取り組みの促進を図るためのCKD対策推進会議開催

<社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上>

(1) こころの健康 (P15)

- ・ 「こころの健康センター」を開設し、うつ病をはじめとした精神疾患の相談体制や早期受診の体制を整備
- ・ 学校においては、スクールカウンセラー、心のサポート相談員等を配置し、児童生徒や保護者が悩み等を相談できる体制を整備

(2) 次世代の健康 (P16)

- ・ 親子（母子）健康手帳交付時に妊産婦健康相談を実施（7,515件）
- ・ 地域における子育て支援活動を推進するため、母子保健研修会を開催（各区役所）
- ・ こんにちは赤ちゃん事業の実施（実6,565件/実施率91.9%）
（未実施ケースについては区役所の保健師が全数フォロー実施）
- ・ 地域の中で子どもたちが健やかに育ち、親も安心して楽しく子育てができることを目的に、育児サークルの育成支援を実施（5区役所：91箇所）

(3) 働き盛り世代の健康 (P18)

- ・ 協会けんぽとの健康づくり包括協定を締結
- ・ 校区単位の健康まちづくりの中でPTA等と連携を図り、健康チェックや生活実態調査、親子学習会などを実施

(4) 高齢者の健康 (P19)

- ・ 地域の高齢者健康サロンや老人会等において、健康づくりや介護予防を目的とした健康教育や栄養指導、運動（ロコモティブシンドローム予防）、口腔機能の維持等についての健康教室を実施
- ・ 生活機能の低下がみられる高齢者（二次予防事業対象者）に対し、通所による介護予防事業を実施
- ・ 「認知症サポーター」を養成するための講座を実施

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

(1) 栄養・食生活 (P20)

- ・ 食育の「周知から実践」を重視した第2次熊本市食の安全安心・食育推進計画を策定
- ・ 6月の食育月間に食の大切さや食と健康のつながりについて楽しく学ぶイベント「食と健康フェア 2012」を動植物園にて開催

(2) 身体活動・運動 (P21)

- ・ 各種健康イベントや健康教室などを通し、身体活動（生活活動・運動）についての普及啓発を実施
- ・ 「熊本城マラソン」を開催
- ・ 新規公園整備の際に、園路（ゴムチップ舗装）や健康遊具を設置

(3) 喫煙 (P24)

- ・ 禁煙、受動喫煙防止のポスターを関係機関等に配布し啓発
- ・ たばこの害に関する市民公開講座の開催（CKD対策の一環）

(4) 歯・口腔の健康 (P25)

- ・ 更なる歯科保健の推進に向け、第3次熊本市歯科保健基本計画を策定
- ・ 保育園・幼稚園でのフッ化物洗口を実施（実施園：208園中98園）
- ・ 小学校でのフッ化物洗口普及モデル事業を実施（モデル校：1校）

<健康を支え守るための社会環境の整備>

(1) 小学校区単位の健康まちづくり (P26)

- ・ 区ごとの特性や目標を掲げた「健康まちづくり活動方針」を策定し、この取り組みの趣旨等について全校区（92校区）に働きかけを実施（健康づくり組織/17校区）
- ・ 健康まちづくりの活動報告会を実施（西区役所）

(2) 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援 (P27)

- ・ 食生活改善推進員の養成講座を開催し、活動の支援を実施（養成数：78人）
- ・ 8020推進員の養成講座を開催し、活動の支援を実施（養成数：78人）

(3) 企業・大学等の健康づくり活動の促進 (P28)

- ・ 企業等との健康づくりに関する包括協定を締結
- ・ 大学生を対象とした歯たちの健診を実施

Ⅲ 平成 25 年度の取り組み

本市の新たな健康づくり施策の指針である「第 2 次健康くまもと 21 基本計画」や「第 2 次熊本市食の安全安心・食育推進計画」、「第 3 次熊本市歯科保健基本計画」の 3 本の計画が掲げている目標の達成に向け、それぞれの進行管理を行う外部会議を開催するなど、着実な推進を図る。

とりわけ、校区単位の健康まちづくりについては、地域住民に身近な区役所を中心として、区や校区の特性に応じた取り組みを推進し、全市的に展開する。

さらには、地域職域連携による働き盛り世代をターゲットとした健康づくり等、様々な関係機関と情報を共有し、協働による取り組みの促進を図る。

* 平成 24 年度の取り組みの継続を基本とし、新たに見直しや工夫を行った事項について記載

○ 主な取り組み等

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

(1) がん (P10)

- ・ 受診率向上等に向けて、関係課によるがん対策ワーキンググループを設置し、現状分析等を行うと共に、改善策を実施
- ・ 協会けんぽやがん対策協定締結企業等との連携による受診率向上のための啓発
- ・ がんに関する悩みや不安への相談対応及び治療法に関する情報発信等を行う「がんサポートセンター」を開設（平成 25 年 7 月）
- ・ がん対策協定企業等の募集
（第 2 次募集：平成 25 年 5 月、第 3 次募集：平成 25 年 10 月）

(2) 循環器疾患 (P12)

- ・ 家庭での血圧測定（家庭血圧）の重要性等についての啓発を強化
- ・ 「健康づくりできます店」の要件見直しの実施

(3) 糖尿病 (P13)

- ・ 日本糖尿病学会との協働による講演会やイベント等の開催
- ・ ICTを活用した健康づくり支援事業の充実

(4) CKD（慢性腎臓病）(P14)

- ・ 病診連携システムの効果検証等の実施

<社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上>

(1) こころの健康 (P15)

- ・ うつ病等の早期発見・早期治療を図るため、かかりつけ医を対象に研修会を開催
- ・ スクールカウンセラーを拠点中学校 17 校から 21 校に増やし、全中学校 42 校に対応

(2) 次世代の健康 (P16)

- ・ こんにちは赤ちゃん事業については、身近な地域での継続的な子育て支援につながるよう地域組織による第 1 子の訪問についても適宜進めていく。

(3) 働き盛り世代の健康 (P18)

- ・ 地域保健と職域保健との連携強化のために地域職域連携推進協議会を設置し、生涯にわたる健康づくり活動の支援策等を検討
- ・ 「健康手帳」の活用を推進
- ・ 協会けんぽとの連携により、校区単位の健康まちづくりを推進するため、特定健診や医療費の分析等を実施

(4) 高齢者の健康 (P19)

- ・ ロコモティブシンドロームの認知度向上に向けた啓発を地域包括支援センター等の関係機関等との連携により取り組む
- ・ 高齢者健康サロン等による体力測定の実施と評価・分析を実施
- ・ 介護予防事業の拡大を図るため、介護予防が必要な対象者把握のチェックリストを個別送付

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

(1) 栄養・食生活 (P20)

- ・ 食品販売店等での栄養成分表示等の促進に取り組む
- ・ 朝食の欠食の改善に向けた食育活動を強化

(2) 身体活動・運動 (P21)

- ・ 運動をテーマとした健康講座を開催
- ・ 地域の関係機関や職域保健との連携を通して、身体活動の重要性やプラステン (+10 分) 運動の普及啓発を実施

(3) 休養 (P22)

- ・ ICTを活用した健康づくり事業において、睡眠や休養に関する情報提供を実施

(4) 飲酒 (P23)

- ・ 産科医療機関等との連携を図り、妊産婦の飲酒防止についての啓発を実施

(5) 喫煙 (P24)

- ・ 産科医療機関等との連携を図り、妊産婦の喫煙防止についての啓発を実施
- ・ COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度向上のため、市民講演会を開催

(6) 歯・口腔の健康 (P25)

- ・ フッ化物洗口普及モデル事業のモデル校の拡大を図る
- ・ CKD予防教室の中で歯と口腔の健康についての情報提供等を未実施の区役所においても開始

<健康を支え守るための社会環境の整備>

(1) 小学校区単位の健康まちづくり (P26)

- ・ 全市展開を図るため、先駆的校区の活動事例の報告を共有する場としての「健康まちづくり活動研修会」を開催

(2) 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援 (P27)

- ・ 食生活改善推進員や8020推進員等の健康づくりボランティアの養成講座を開催
- ・ 健康づくり活動団体等との連携による「わくわく健康塾」の開催

(3) 企業・大学等の健康づくり活動の促進 (P28)

- ・ 大学生の食事に関する食育実践講座の開催
- ・ がん対策の推進に取り組む企業・団体等の拡充

(参考資料) 具体的な施策の展開シート

具体的な施策の展開等	ページ
1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	
(1) がん	10
(2) 循環器疾患	12
(3) 糖尿病	13
(4) CKD(慢性腎臓病)	14
2 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上	
(1) こころの健康	15
(2) 次世代の健康	16
(3) 働き盛り世代の健康	18
(4) 高齢者の健康	19
3 健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり	
(1) 栄養・食生活	20
(2) 身体活動・運動	21
(3) 休養	22
(4) 飲酒	23
(5) 喫煙	24
(6) 歯・口腔の健康	25
4 健康を支え、守るための社会環境の整備	
(1) 小学校区単位の健康まちづくり	26
(2) 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援	27
(3) 企業・大学等の健康づくり活動の促進	28

※実績値について（平成25年9月末時点での確定値。平成24年度の数値が出ないものについては平成23年度の確定値を記載。それ以外は以下のとおり）

「集計中」… 現在数値把握を行っているもの

「－」… 今後調査・アンケートを行うもの

「／」… 今年度調査対象となっていないもの